

桔梗新聞

令和元年第一号

最近の生徒会

新たな年、そして新たな時代。現上皇陛下が天皇を退位され、そして新天皇陛下が即位されたことにより、時代が平成から令和へと移り変わりました。

進取 努力 想像

新しい時代のスタートに合わせて、生徒会でも新たな活動をはじめます。毎週水曜日の朝八時から桔梗会館前で挨拶運動を行います。朝の挨拶は一日の始まりであり最も大切なものです。元氣よく朝の挨拶をすることでよりよい一日をスタートしましょう。皆さんの学校生活がよりよいものになるよう、これまでの生徒会活動も継続しつつ、新しいことにも積極的にチャレンジしていきます。ご協力よろしくお願ひします。

≪今週のコンテンツ≫

- トピック
…入学式
- IDENTITY
…天野会長
- 今週のせんせー
…鈴木彰校長先生
- 学問のすすめ
…15分の仮眠
- お知らせ
…挨拶をしましょう

《ホームページ》

<https://school.gifu-net.ed.jp/tajimi-hs/>

トピック



四月八日に入学式があり、桜が満開で風に吹かれ舞っていました。新入生は新しい制服に身を包み希望を胸に登校してきました。入学式の翌日に行われた対面式で新入生代表が多治見高校での生活の決意を語ってくれました。

二、三年生は慣れたクラスメイトとは別れ、新しいクラスでの生活が始まりました。

一年生は多治見高生としての自覚を持ち、二年生は先輩として、三年生は最高学年又、受験生として意識をもち、充実した一年を過ごしましょう。



学問ノススメ

部活動や塾が有る日は宿題をしていると眠気に襲われませんか。眠気を我慢して宿題をしていると効率が悪くなってしまいます。そのようなときには、15分くらいの仮眠をおすすめします。なぜ15分かというと脳が完全な睡眠モードに入る前の時間だからです。仮眠をすれば眠気も消えるし、効率も上がるので眠気がひどいときは一回試してみてくださいいかがでしょうか。

IDENTITY



こんにちは、生徒会長の天野颯です。今年の生徒会は、人数がとても多く頼りになる仲間ばかりで、行事もうまく運営できています。毎週水曜日の

定例会では、用事をこなしつつも学年関係なく仲がよく、とてもいい雰囲気です。前期は桔梗祭という大

きなイベントがあります。このたくさん的人数を活かしてスムーズに運営、進行をしていけるよう努力します。今年度から生徒会に入った新人ですが全力で取り組むので

今回から始まった「IDENTITY」。ここでは、「あなたのIDENTITYとは」というコンセプトを元にお送りします。趣味や持論、広めたいこと、紹介したいこと。何でも誰でも匿名でもOKです。あなたの文章を載せてみませんか？

是非という方は、水曜日の放課後生徒会室でお待ちしております。

お知らせ

化粧をして、ルールを守らない**性格ぶず**になるか。

素のまま、ルールを守る**美しい人**になるか。

選ぶのはあなたです。

【悲報】男はケバイ人はだいたい苦手です

今週の **せんせい**

鈴木 彰 校長
教科 (国語)

この4月に新しく赴任された鈴木校長先生に話を聞きました。

多治見高校の印象はどうですか？

まじめで素直な生徒が多いという印象を受けました。部活動にも学習にもよく頑張っていると感じていましたし、実際、その通りだと思います。

以前多治見高校に勤めていた先生から、「まず校歌がいい！ 曲も詞も印象的で、一度聞いたら忘れられない。また、校庭の銀杏がいい！ 黄葉した姿は他の学校にはないよ」と教えてもらいました。なるほどいい校歌だと思います。入学式の時に前年度音楽選択者が校歌を新入生の前で披露してくれましたが、パートに分かれて歌う校歌を初めて聞きました。また新緑の映える銀杏の大きさに凛としたすがしさを感じます。秋の黄葉が楽しみです。

先生の趣味は何ですか？

カッコよく言えば、ガーデニングですが、実際は庭いじりです。小さな庭ですが、いろいろな花を育てていて、春には庭にチューリップが三〇〇本以上咲きます。初夏にはバラが一斉に花をつけ、華やかな雰囲気になります。土をいじっていると癒される気がしており、避雷針が雷の電気を土に流すように、土をいじっていると嫌な気持ちがアースされて

ていくと思っています。

また、花を育てることと人を育てることには共通することが多くあり、園芸書を読んでいると、気づかされるのがたくさんあります。「一の肥やしはあるじの足跡」という言葉があり、親身になることが大切という点では教育と同じですね。

高校時代の思い出は？

やはり部活動です。バレーボールを頑張っていました。中学時代は剣道部、高校では新しい部活動をと思い、バレー部に入部しました。割と強い部だったので、練習は厳しく初心者としてはとても苦勞しました。何度も辞めようと思いましたが、スパイクの打ち方とかを研究し、自分なりに上手くなったと自覚してからは、楽しくなりました。研究していくことの大切さを体感しました。

大学時代はどのようでしたか？

書籍代が生活費の大半を占めるような生活でしたが、旅行にも出かけました。海外を十数か国、バックパックを背負い、一人で旅するなかでいろいろな考えることができました。

中国では、ジャスミンの花の香りを楽しむ人たちに文化のありようを感じ、ドイツでは、独語が話せないのに、現地の人たちとビールを飲みながら騒ぎ、明るく笑顔でいることは言葉の壁も超えることもあると思いました。人間というもの、素晴らしく奥深いものだとこのことを実感し、人と関われる仕事、教育というものを目指すようになりました。

多治見高校生に期待することは何ですか？

毎朝、校門でどの生徒もきちんと挨拶をしてくれます。しかもしっかりとアイコンタクトをして挨拶をしてくれることは、多治見高生の素直さ、人柄の好さを示していて、そのよさをもっと引き上げていってほしいと思っています。人が成長するために大切なものの一つは「素直さ」です。この資質をもって、いろいろなことに挑戦していくと飛躍的に成長していけるでしょう。校外のいろいろな団体と交流する機会を設け、考える機会を多くつくってほしいと考えていますので、心のベクトルを外へ外へと積極的に向けていってほしいと願っています。

校長先生、お忙しい中インタビューに答えていただきありがとうございます。生徒会としても校長先生と語る会などを設け、よりよい学校になる提案をしていきたいと思っていますので、ご協力をお願いいたします。

